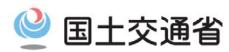
資料 1 参考資料 2

基本構想の作成事例集

平成25年8月1日 国土交通省 総合政策局安心生活政策課



高知駅周辺地区バリアフリー基本構想(高知市)



概要 (受理日 平成15年5月30日)

並行して行われる連続立体交差整備事業、土地区画整理事業にあわせて、県の「バリアフリー・モニター会議」等による障害者団体等との意見交換を踏まえ、駅の南北にバスターミナルや路面電車停留場、タクシー乗り場、障害者用スペースを含む駐車場等を振り分けつつ配置、駅構内からこれらの施設へは視覚障害者誘導ブロック、フラットな路面、屋根の設置等バリアフリー化された歩行者動線を確保を行った。

また、路面電車の低床化、停留所のノンステップ化や周辺道路の整備(視覚障害者誘導ブロックの整備、広告物の整頓等)により、市内中心部における一体的・連続的なバリアフリー化を実現した。



特定事業

公共交通特定事業

駅…連続立体交差にあわせたエレベータ、多機能トイの設置、視覚障害者誘導用ブロックの敷設、職員へのバリアフリーに対する教育訓練の実施

駅前広場…土地区画整理事業にあわせた各種乗降場の整備、主導線場への連続的な 上屋の設置、視覚障害者誘導用ブロック、駐輪場の整備、案内 誘導施設の整備

車両…バス車両の低床化、LRV、福祉タクシーの導入推進 停留場…軌道機能部上の段差の解消、上屋・ベンチの整備

道路特定事業

既存のマウントアップ型歩道をセミフラット型歩道に改良。横断歩道部のすり付け 勾配の緩和、視覚障害者誘導用ブロックの敷設・改良、側溝蓋の設置・改良。歩道 のはい箇所への新設。

交通安全特定事業

音響信号の設置・改善、歩行者支援システム (PICS) の導入、違法駐車、放置自転車の撤去・規制、時間延長押しボタンの設置等

その他事業

看板、自転車等の路上はみ出しへの指導・規制の強化、市民へのバリアフリー啓発活動

当事者の意見の反映方法

県の「バリアフリー・モニター会議」等の場において、障害者団体等との意 交換を17回にわたり実施し、現地体験による検証結果を踏まえて、施設の整 備計画に反映した。

基本構想の推進体制

協議会の構成

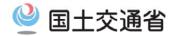
高知市老人クラブ連合会、高知市身体障害者連合会、高知県肢体障害者協会、高知県視覚障害者協会、高知県聴覚障害者協会、町内会連合会、高知駅周辺土地区画整理審議会、高知TMO事業推進委員会、高知市草の根消費者グループ、おやこばと会、NPO高知市民会議

スパイラルアップの方法

高知市民・事業者・行政が参画した協議組織をつくり、基本構想に基づく事業計画の確認、事業の進捗状況の定期的な確認、事業者と市民との意見交換・協議、各事業の事後評価実施を行い、市民参画の下、継続的なバリアフリー化を図っている。

また、駅とバス待合所に意見収集ボックスを設置し、継続的に高齢者、障害者、市民等からの各施設に対しての意見を把握し、スパイラルアップを図るべく努めている。

基本構想の作成事例 高知駅周辺地区バリアフリー基本構想(高知市)



公共交通特定事業





連続立体交差整備事業、土地区画整理事業にあわせて、駅周辺を一体的・連続的に整備した。

▼車いすスペースを十分に確保したエレベーターの設置

▼構内の視覚障害者誘 導用ブロックの設置

▼幅広タイプの改札



はりまや橋バス停留所

バス停留所上屋の設置、フラット化



▼低床バス、LRV (超低床電車) の導入

道路特定事業

視覚障害者誘導用ブロック の設置、横断歩道部分の段 差改良、すり付け勾配の改 善、電柱による歩行障害の 解消等を実施。



▲視覚障害者誘導用ブロックの連続的な設置と横断歩 道部分の段差改良

交通安全特定事業

歩行者の所持する携帯情報端末等を介して,信号の状態の 案内、歩行者信号の青時間の延長、目的地までの段差の少 なくかつ最短な歩行ルートを画像や文字で案内等、障害の ある人等の安全な移動を支援するシステムを整備。

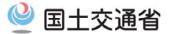


▲歩行者支援情報通信システム(PICS)の整備 エスコートゾーンの整備▲





高野山地区バリアフリー基本構想(高野町)



概要 (受理日 平成18年12月20日)

山間地の地形的困難性を有しながらも、地域内外の利用者の意見を踏まえつつ、ケーブルカー特有の階段状の乗降場のバリアフリー化、景観に配慮した新たなエレベーター塔や多機能トイレの設置、ノンステップバスの配備等、世界遺産を抱える観光地として、多くの、様々な利用者を想定したバリアフリー化整備を行った。

重点整備地区の位置及び区域 高野山地区 (面積 120ha) 極楽橋駅 高野山駅 高野山病院 MANUFACTURE NO. 高野町役場 **東新田岡工会館** 高野山大学松下講堂黎明館 凡例 重点整備地区 生活関連施設 牛活関連経路

特定事業

<u>公共交通特定事業</u>

道路の状況や冬季の積雪・凍結の状況の考慮し導入向けて検討する。 運行情報提供設備等(車外用放送設備、行き先表示)についても検討を進める。

道路特定事業

波打ち歩道・段差の解消、破損個所の修復等、可能な部分から整備を進める。 町道で誘導ブロック未設置の箇所の整備を行う。また、景観に配慮した 誘導ブロックで周囲との対比が明瞭でない部分について再検討する。 歩道上にある電柱や看板等の障害物の移設・撤去を進める。

建築物特定事業

各建築物における誘導ブロックの設置、景観に配慮した公衆便所の設置と身体障害者用便房の整備。公衆便所における案内標識・点字表示の整備。

交通安全特定事業

身体障害者対応型信号機の設置、迷惑駐車の取り締まり。

その他事業

極楽橋、高野山駅の移動円滑化のための事業、ケーブルカーの整備、移動等円滑化に必要なサイン・案内板の整備等

当事者の意見の反映方法

来訪者による現地調査

南海電鉄業地別を出発点とし、南海電車、ケーブル、バスを利用し、高建町をフィールドとした来訪者と高野町との住民の交流を兼ねた現地調査を実施した。車いす利用者、視覚障害者、聴覚障害者の3名については、担当者が難嫌別から各ポイント地点の利用しやすい点、課題、提案などの意見を随時ヒアリングを行った。

当事者参加による現地調査

基本構想を住民全体の計画として位置付けるため、行政、寺院関係者、福祉関係者、公共交通事業者、公安委員会、観光事業者、教育委員会、学校、地域住民が町歩きを行い、様々な立場から見た課題や提案を行った。

基本構想の推進体制

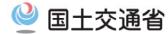
協議会の構成

スパイラルアップの方法

住民だけでなく、高野山を訪れる観光客にも使いやすいものとするため、基本 構想作成後の事業実施に向けた取組み及び事業の進歩状況についての意見交換や 高野山を訪れる人との継続した交流を進めるための定期的な会合を開催した。

基本構想の作成事例

高野山地区バリアフリー基本構想(高野町)



その他事業

高野山駅・・・駅ホームにエレベー ターと連絡通路を設置。高齢者、障害 者だけでなく、大きな荷物を持つ観光 客にも対応できる改札口までのバリア フリー化ルートを確保。

極楽橋駅・・・階段昇降機を設置し、 乗降用渡し板を使用することにより車 いす使用者等のケーブルカーへの乗降 を容易にした。 ▼▲景観にも配慮したエレベーター等の設置





▲階段昇降機の設置



■改修概要

- ○極楽橋駅
- ・階段昇降機 1基
- ・スロープ 1ヶ所
- ・多目的トイレ 1ヶ所
- ・誘導警告ブロック、手すり、点字案内 板、案内サイン
- ○高野山駅
- ・エレベーター 1基
- ・多機能トイレ 1ヶ所
- ・誘導警告ブロック、手すり・点字案 内板、案内サイン

多機能トイレ▼



公共交通特定事業

高野山駅を起点に高野山地区を走る路線バス のノンステップ化を推進



観光案内標識の充実

観光案内標識にピクトグラムを入れ、多くの人 が認識できるようにした。



建築物特定事業 周りの景観に配慮しつつ、すべての公 衆トイレのバリアフリー化改修を行った。



オストメイト対応便器▲

桃山台駅周辺地区バリアフリー基本構想(吹田市・豊中市)



概要 (受理日 平成17年4月5日)

桃山台駅は、丘陵地にある住宅地区内に位置し、吹田市民のみならず、駅が豊中市に隣接することから豊中市民も多く利用する。 駅構外からホームまでの経路に多くの段差があり、車いす利用者や高齢者の方にとって使いにくく、両市民から駅舎の早急な改善が望まれてきた。このため、吹田市と豊中市の市境においても連続した移動経路を確保し、切れ目のない一体的なエリアとしてバリアフリー化を進めるため両市が協働で基本構想を策定した。基本構想に基づき、タウンウォッチングを実施する等住民の参加の下、旅客施設周辺の一体的整備、旅客施設周辺の道路における段差や勾配の改善を行った。



特定事業

公共交通特定事業

駅・・・エレベーター、エスカレーターの設置。駅と公共用通路の連続性を保つことに留意し、 駅舎出入口のバリアフリー化に努める。視覚障害者誘導用ブロックの設置。車いす利用 者、視覚障害者、高齢者等が利用しやすい券売機の設置。緊急時や事故時の際も対応で きる案内情粉態の整備。

車両…文字案内装置等を設置したバリアフリー化車両を導入を検討。

ソフト…職員訓練の実施。

道路特定事業

歩道・道路・歩道の有効幅員の確保、段差・勾配の解消、バリアフリーに対応した路面舗装。 照明施設・案内標識の整備、視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良、違法駐車・放置自転車、看板等の不法占用物対策

バス停等…バリアフリー化に配慮したバス停の改良、低床型バスの導入

交通安全特定事業

音響式信号機、感応式信号の設置、生活緊連路路上は歩行者用信号灯器の設置。横断歩道の設置

ソフト事業

バリアフリーの教育の実施、バリアフリーマップの作成、広報・啓発の推進等。

基本構想の推進体制

協議会の構成

学識器験者

大阪大学大学院教授・准教授、大阪市立大学大学院教授

市民・当事者団体

自治会連合協議会、高齢クラブ連合会、商工会議所、社会福祉協議会、男女共同参画能進員、 吹田市民会議、子育て中又は経験のある公募市民、介護又はボランティア経験のある公募市民 業者

北大阪急行電鉄㈱、阪急電鉄㈱、JR西日本、阪急バス㈱、大阪高速鉄道㈱ 行政

大阪市交通局、大阪府、吹田市、豊中市、国土交通省

スパイラルアップの方法

基本構想作成後の事業進捗状況の管理、事業を円滑に進めるとともに、継続的に改善点を事業に盛り込むため、策定に関係した高齢者、障害者、住民、事業者等で「バリアフリー推進協議会」を組織し、スパイラルアップを図っている。また、事業者が設計・工事段階で障害者の意見を聴くことができる「バリアフリーチェックシステム」を導入し、基本構想作成時のタウンウォッチングやワークショップでは発見することができない細かな点についてもフォローアップを行っている。

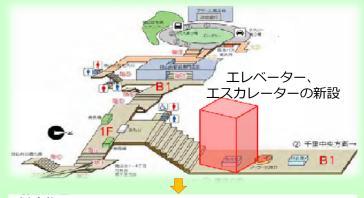
桃山台駅周辺地区バリアフリー基本構想(吹田市・豊中市)

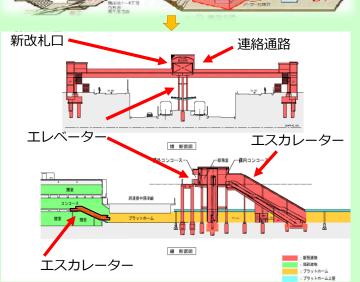


公共交通特定事業

桃山台駅新駅舎(公共交通特定事業)

駅舎を新設し、構内にエレベーターとエスカレーター を設置、構外の連絡通路に接続する形とした。







連絡通路 (道路特定事業)



エレベーター(道路特定事業)

道路特定事業

駅舎を新設して構内にエレベーターとエスカレーターを設置、 構外においては橋上の新駅舎に接続する連絡通路から地上の 道へ通じるエレベーターを設置した。さらに、鉄道り事業者といい 田市・豊中市が連携し連絡通路に接続した。国道の平面横断を延伸し連絡断舎といい。 題け、周辺住宅地から新駅舎を での安全なルートを確保するながる立体的なバリアフリー化を実現。











▲住宅地につながる歩道橋

▼車道と歩道の段差、路面舗装の老朽化の解消、十分な幅員の確保等を行った。





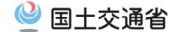








三軒茶屋駅周辺地区バリアフリー基本構想(世田谷区)



概要 (受理日 平成18年4月13日)

三軒茶屋駅周辺は高齢者・身体障害者等の利用が多い主要な施設が徒歩圏内に位置しているが、バリアフリー化が進んでおらず、区民からのバリアフリー化の要望が多かった。また、幹線道路が地区を分断する等様々なケースの移動・交通環境の地域課題を抱えていた。作成した基本構想に基づき、駅の上下移動の負担軽減、分断されていた地区の統合が実現され、障害者、高齢者、子育て世代等が安心して歩けるような街となるよう整備を行っているところである。

重点整備地区 三軒茶屋駅周辺地区 (面積 99ha) 軒茶屋区民集会所 **乙位所三射景摩分广舍** 大子安安古日 曲友 三軒茶屋区民集会所 区役所三軒茶屋分庁舎 →世世登録 西友 人見記念講堂 世田谷線三軒茶屋駅 田園都市線三軒茶屋駅 キャロットタウー 世田谷 太子堂区民センター コットタフー 福祉作業所 メトア (とうきゅう) 世田谷警察署 世田谷区ボランティアセンタ 三軒茶屋病院 世田谷郵便局 世田谷郵便局 上馬二丁目 三軒茶屋病院 凡例 重点整備地区 牛活関連施設 牛活関連経路

特定事業

公共交通特定事業

駅…ホーム階から改札階までのEV設置。階段段鼻の認識性向上、案内サインや音 声案内についての検討、ホーム端部の視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法の 検討、触知式案内板の位置変更の検討、多機能トイレの整備、ホーム上のベン チ増設、幅広の改札の設置、職員の接客教育の継続。

バス・・・ノンステップバスの導入、段差解消のための停留所改良、職員の接客教育 の継続。

道路特定事業

歩道橋の改良、連続した視覚障害者誘導ブロック整備、滑りにくい舗装の整備、看板・はみ出し陳列物の指導。

交通安全特定事業

三軒茶屋交差点の横断問題の解決、音響式信号機への改良、違法駐車の取締まり及び広報・啓発活動の実施。

その他事業

公開空地となっているキャロットタワー1階部分の整備(勾配の緩和、視覚障害者誘導用ブロックの設置)、路肩のカラー舗装、電柱の移設についての検討、急傾斜の箇所の改善、道路放置物(カラーコーン等)の改善方策の検討、放置自転車対策の継続。

当事者の意見の反映方法

世田谷区内の各団体を通じ、約900部のアンケートを実施し、三軒茶屋駅周辺地区の施設や道路についての意見を収集した。収集した意見を基に重点的に整備すべき箇所の洗い出しを行った。同様にまち歩き点検調査で課題の洗い出しを行った。

また、協議会や部会、アンケート調査などにおいて寄せられた意見に対して、より 詳細な情報を得るため、追加でヒアリングを行い、対応方針をまとめて基本構想に結 び付けるなど、当事者に積極的に参画してもらえるような、体制作りを行った。

基本構想の推進体制

協議会の構成

学識経験者…国士舘大学准教授

市民・当事者団体・・・身体障害者福祉協会、視力障害者福祉協会、聴覚障害者協会、 世田谷区ミニキャブ区民の会、高齢者クラブ連合会、各町内会長

事業者・・・東急電鉄㈱、東急バス㈱、小田急バス㈱、三軒茶屋商店街連合会、キャロットタワー管理組合

行政…東京都、警視庁、国土交通省

三軒茶屋駅周辺地区バリアフリー基本構想(世田谷区)



公共交通特定事業

ホーム階から改札階までのエレベーターの設置、車いす用の蹴り込みを設けた券売機の設置、多機能トイレの設置(点字案内及び音声案内も設置)、改札口の増設、駅員の研修等を行った。



- ▲多機能トイレの設置及び案内板の整備
- ▼列車接近表示の電光掲示板の設置



▼三軒茶屋交差点の通る路線バスは、ほぼ全車両ノンステップバスを導入。

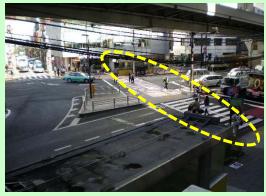


道路特定事業・交通安全特定事業

国道246(玉川通り)・都道3(世田谷通り)の視覚障害者誘導用ブロックをJIS規格に更新し、地下歩行者専用道路の床面を滑り止め材質に加工した。横断歩道にはエスコートゾーンを設置し、音響式信号機、残り時間のわかる信号機の設置等を行った。







▲三軒茶屋交差点 エスコートゾーンを整備した横断歩道を新設。



三茶パティオ地下歩行者専用道路▼ 地下道の滑り止め加工を実施



◀残り時間のわかる信号機の設置

世田谷ボランティアセンター~下馬図書館~ 世田谷福祉作業所▼ 歩道の拡張とカラー舗装の実施





静岡駅・新静岡駅周辺地区バリアフリー基本構想(静岡市)

(受理日 平成14年10月15日) 概要

重点整備地区

異なるモードの交通機関相互間の乗り継ぎ経路のバリアフリー化を目的とし、生活関連経路及び生活関連経路へ接続する通路における有効幅 員の確保、勾配及び縁石段差の改善、視覚障害者誘導用ブロックの設置、改札口から生活関連経路への整備等を行った。

また、官公庁、都市公園、商店街、医療機関、福祉施設等多数の利用がある施設についても同様に整備を行い、一体的・連続的な歩行空間の 確保と中心市街地の活性化を図った。

重点整備地区の位置及び区域

特定事業

静岡駅・新静岡駅周辺地区 (200ha) 中央福祉センター 中央体育館 駿府公園 市立静岡病院 市民文化会館 地方法務合同庁舎 社会福祉会館 静岡県庁 静岡市役所 新静岡セノバ 丸井 松坂屋 ホテルアソシア パルシェ 中央郵便局 凡例

生活関連施設

■ 生活関連経路

公共交通特定事業

鉄道とバス又はバス相互間の乗り継ぎ経路のバリアフリー化 身体障害者対応型便所の設置 視覚障害者誘導用ブロックの設置

主要な設備の配置等の案内設備の設置

改札からホームへの経路における段差解消

道路特定事業

道路付属物、道路占有物の移設、集約による有効幅員の確保 既存歩道等の路面の段差や凸凹及び勾配等の改善 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び縁石等による歩道と車道の分離 歩行者のための案内標識や照明・休憩施設の設置 バス停部でのバス乗降を考慮した歩道高の確保、ベンチ及び上屋の設置

交通安全特定事業

音響信号機や信号機の高度化を実施

その他事業

駅前広場のバリアフリー化

駅前広場や交差点での歩行者用案内・誘導の統一化

当事者の意見の反映方法

既往調査資料の整理

静岡市において過去に実施した調査から、高齢者、障害者等が利用する主要な 施設、経路の抽出を行った。

アンケートの実施

高齢者、障害者等が利用する主要な施設・経路について、さらに高齢者、障害者 団体等の意見を反映するため、アンケートを実施した。なお、アンケート実施に あたって、各団体の代表者が集まる会合を活用し、静岡市交通政策協議会の開催主 旨、交通バリアフリー法の説明を行った。

説明会合

- ◆静岡市障害者プラン勉強会 視覚障害者団体、聴覚障害者団体、肢体障害者団体、知的障害団体、各種ボラン ティア団体
- ◆静岡市子育てサークル会合 子育てサークル
- ◆静岡市老人クラブ連合会会合 老人クラブ

静岡駅・新静岡駅周辺地区バリアフリー基本構想(静岡市)





仙台市都心地区バリアフリー基本構想(仙台市)



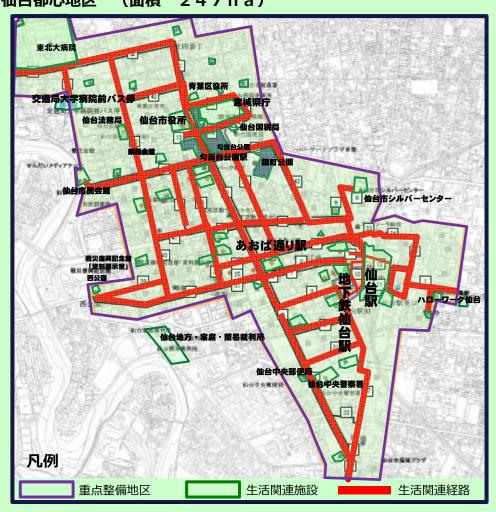
概要 (受理日 平成15年3月24日(仙台駅周辺) 平成16年3月31日(都心) 見直し日 平成24年7月1日)

仙台市都心地区は、市民が集う都市機能が集積する一方、ペデストリアンデッキや地下通路により歩行空間が多層に渡り、利用者の上下移動が多く、限られた空間に歩行者や自転車などの交通が錯綜し、歩行が困難になっていることから、各層をエレベーター等で結び付けるとともに、現在予定のある仙台駅東口整備や地下鉄東西線の開業に伴う各種事業に併せ、連続性と回遊性のあるバリアフリー空間の創出に努める。平成24年には、路外駐車場や都市公園に関する事業を明確に位置付けるとともに、旧構想の事業内容の見直しを行った。

重点整備地区の位置及び区域

特定事業

仙台都心地区 (面積 247ha)



公共交通特定事業

駅構内の出入り口から経路、通路、改札口について、車いす通行ができる幅とするとともに、手すり等の設置に努める。

高低差がある場合はエレベーター、エスカレーター、スロープの設置に努める。

移動者にわかりやすい案内サインの設置・改善に努める。

視覚障害者誘導ブロック及び音響音声案内装置の設置に努める。

ホームからの転落防止対策の推進。

地下鉄車両やバスのバリアフリー化に努める。

道路特定事業

駅出入口や沿道建築物等との段差や勾配の改善に努める。

歩道は透水性舗装とすることに努める。

横断歩道橋、ペデストリアンデッキや地下通路にはエレベーター、エスカレーターの 設置に努める。

ベンチ・上屋等のある休憩施設の整備に努める。

既存の電柱移設や電線類地中化の整備に努める。

放置自転車や看板等の不法占用物件の指導とともに、啓発活動に努める。

路外駐車場特定事業

車いす使用者用駐車施設は出入口に近い位置の設置に努める。

看板、路面表示等により、車いす使用者駐車場の位置をわかりやすくすることに努める。

都市公園特定事業

園路・広場は、段差のない平坦な構造とすることに努める。

トイレ、水飲み場のうち、1施設はバリアフリー化に対応したものとする。

交通安全特定事業

音響信号機や高齢者等感応化、歩行者経過時間表示機能装置の設置に努める。

高輝度表示やエスコートゾーンの設置に努める。

交通安全に関する啓発活動に努める。

その他事業

職員へのバリアフリー教育

優先席・携帯電話利用マナー・身体障害者補助犬・マタニティマーク・ハートプラスマーク等に関するマナー啓発。

当事者の意見の反映方法

高齢者や障害者等とともにまちを歩いてバリアフリー点検を行い、現地の問題や課題を確認した。その結果を取りまとめ、バリアフリー化をいち早く行うべき地区や経路を検討した。

基本構想の作成事例

仙台市都心地区バリアフリー基本構想(仙台市)



公共交通特定事業



▲仙台市交通局においては全 駅に可動式ホーム柵を設置。 (仙台駅)

● ターを設置。(仙台駅)



▲バス接近表示器整備

道路特定事業



(定禅寺通)



▲▼歩道の整備(視認性のある視覚障害者 誘導用ブロックと電柱の地中化)



▲拡幅自動改札機を設置し、車椅子使用者の自動改 札機を利用を可能に。(仙台駅)



▲階段や傾斜路には2段手すりを設置。 (地下鉄勾当台公園駅、仙台駅)



▲西口ペデストリアンデッキ

交通安全特定事業



▲エスコートゾーンの設置(北一番丁勾当台交差点)▲残り時間のわかる信号機の整備(広瀬通)



🎱 国土交通省

宮内串戸・阿品・宮島口駅周辺地区バリアフリー基本構想(廿日市市)

概要 (受理日 平成16年6月22日(宮内串戸・阿品) 平成21年8月3日(宮島口))

宮内串戸、阿品駅周辺地区においては、交通バリアフリー法に基づき基本構想を作成し、都市計画マスタープラン、障害者福祉計画、福祉のまちづくり条例等の各種計画と連携・整合を図りながら整備を進めている。宮島口地区については、宮島町や大野町との合併やバリアフリー法が施行されたことを受け、先行する2地区におけるノウハウや反省点を活かしつつ整備を進めている。また、世界遺産である「厳島」を抱える自治体として、バリアフリーと同時に景観にも配慮したまちづくり行っている。

重点整備地区 特定事業



公共交通特定事業

ホーム間を結ぶエレベーター及び跨線橋の設置。手すりの2段化及び水平部の延長。音声情報案内装置の設置。改修時において可能な限り既存車両のバリアフリー化に努める。内方線付きの視覚障害者誘導用ブロックの設置。職員教育・訓練の実施。トイレの改良。

道路特定事業

車両出入口や歩道切下げ方法の改善。視覚障害者誘導用ブロック(特に輝度 比)の改善。階段手すりの2段化及び水平部の延長。階段段鼻の識別性の確 保。水はけの良い舗装への改善。照明施設の改善。放置自転車・自販機・植 栽・看板等の撤去・移設。違法駐車行為防止のための啓発。排水施設の整 備・側溝蓋の改善。

交通安全特定事業

視覚障害者用信号機の改良。道路標識・表示の高度化・高輝度化。

その他事業

駅前広場の上屋の連続的設置。歩車道等の高低差解消。公衆トイレ・休憩スペース等の設置。身体障害者用を含む一般乗用車・バス・タクシー等の各種乗降場の整備。

当事者の意見の反映方法

廿日市市内に在住の65歳以上の男女2,000人及び障害者団体を通じ、500人の身体障害者を対象にアンケートを実施し、駅の利便性、施設の利便性や不安等を中心に意見を収集した。

老人クラブ所属の方、身体障害者を対象に意見交換会を開催し、よく利用する駅や施設とそこまでのルートをピックアップし、重点的に整備する地区の洗い出しを行った。

高齢者、障害者の方をはじめ市民を対象にタウンウォッチングを実施した。

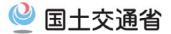
基本構想の推進体制

協議会

学識経験者…広島工業大学教授、日本赤十字広島看護大学教授 市民・当事者団体…小中学校長会、町内会連合会、商工会議所、医師会、老人 クラブ連合会、障害者団体連絡会、社会福祉協議会、ボラン ティアサークル

事業者… J R西日本、広島電鉄

基本構想の作成事例 宮内串戸駅周辺地区(廿日市市)









▼勾配のある道路に 滑り止めの舗装を実施。



▼一体化したバス停と電車ホーム



▼連絡通路と民間建築物の一体的な整備により、 円滑な移動を可能に。



宫島口駅周辺地区(廿日市市)

